

1. 件名：浜岡原子力発電所3号炉及び4号炉の新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年7月26日(水) 10時10分～10時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官※、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 原子力土建部長
他8名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・浜岡原子力発電所 基準地震動・基準津波等の審査スケジュールについて

時間	自動文字起こし結果
00:00:03	A 規制庁地震津波の鈴木です。それでは、浜岡原子力発電所の地震津波の審査スケジュールについての、
00:00:11	面談を始めたいと思います本日付で、
00:00:15	これは前回会合でも、配布されたスケジュールですけど、これも少し現状を踏まえて更新があるという話と、
00:00:25	あとは地質の追加調査状況ですかねこの辺骨子報告があるというふうに聞いてますので、設定しております。まず中部電力の方から説明をお願いします。
00:00:37	はい。中部電力の大賀です。基準地震動基準津波等の審査スケジュールにつきまして、前回 6 月 23 日の審査官からの変更点を中心に、ご説明をさせていただきたいと思います。
00:00:50	まず 3 ページをお願いいたします。
00:00:55	6 月の審査会合からの変更点を赤字で示しております。
00:01:01	敷地の地質構造に関しまして H 断層系の活動性に関して、現在調査状況を、12 ページに参考情報として入れさせていただいています。
00:01:12	本日の面談ではないようについてご説明をさせていただきますが、審査会合では説明を割愛させていただく予定です。
00:01:18	基準地震動につきましては 6 月 23 日の審査会合の結果を反映しております。
00:01:23	また、基準地震動の策定に関しましては近々資料を提出させていただきたいと考えております。
00:01:30	4 ページをご覧ください。
00:01:33	基準津波に関しましては、7 月 14 日の審査会合の結果を反映しております。審査会合での指摘事項に対しては、組み合わせの、
00:01:44	前の審査会合において説明をさせていただきたいと考えております。
00:01:49	火山基礎地盤に関しましては前回の変更からございません。
00:01:55	5 ページから 8 ページには基準地震動と基準津波の策定にあたっての論点と方針をまとめさせていただいております。
00:02:04	5 ページの基準地震動に関しましては 6 月 23 日の審査会合で震源を特定せず策定する地震動が概ね妥当との評価をいただいたことから、特定せずの欄を削除させていただいております。
00:02:17	6 ページ 7 ページの基準津波の内容につきましては、
00:02:21	本日審査会後、ヒアリングの方で説明をさせていただきますので、説明を割愛をさせていただきます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:29	10 ページ 11 ページをご覧ください。
00:02:35	こちらは、
00:02:36	1162 回の審査会合に示した新設級スケジュールに対しまして、審査状況それから資料の準備状況を踏まえて現状の希望のスケジュールを示したものとなります。
00:02:48	まず、敷地の地質地質構造に関しましては、
00:02:53	追加調査 2 年にかけて実施することから、それらの結果が取りまとまった 11 月から 12 月以降に評価方針についてご説明をさせていただきたい。
00:03:03	いうふうに考えております。
00:03:06	それから基準地震動基準津波に関しましては実績に基づいて、紫文字の部分で修正しております、
00:03:14	先ほど申し上げましたように基準地震動につきましては来週にも資料提出させていただいて、9 月に審査会合で測っていただきたいと思いますと考えております。
00:03:22	基準津波に関しましては、7 月に地すべりとか、火山現象を 8 月に、プレート間地震以外の地震による津波の審査会合を実施していただいて、
00:03:33	9 月に、は、津波の発生要因の組み合わせを実施していただきたいと思いますというふうに考えております。
00:03:39	なおプレート間地震につの津波に関しましては、津波発生要因の組み合わせと一緒に審査会合に図っていただくことを考えておりましたが、これまでの評価の取りまとめになることから基準津波の説明とあわせて実施させていただこうと考えております。
00:03:58	それから、続いて 12 ページをご覧ください。
00:04:03	こちら参考情報になりますけれども、
00:04:06	BF1 地点での追加調査の進捗の状況になります。
00:04:13	左下に BF1 地点のトレンチの全景の写真があります。北側から南側を写した写真になりますけれども、
00:04:21	そのトレンチの東面を拡大した写真が右側にあります。
00:04:27	PFI 地点のトレンチ調査によりまして、
00:04:30	この SK 層中に火山灰層、
00:04:33	SKR テフラ等を過少しておりますけれどもこれを確認しております。
00:04:38	この SKRTephra のガラスの主成分分析を、主成分の分析をした結果、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:45	長野それから市、四国沖等で確認された阿蘇山テフラ、これ約 13 万年前になりますけれども、それに対比されている火山灰と類似しているということを確認しております、
00:04:56	3 テフラに対比されると考えております。
00:05:00	それから、このトレンチの東面の写真見ていただくと、下側に相良層、上に S ケースはありますけれども、この S ケース岡井の嵯峨層中には、A1 断層系と類似した
00:05:13	露頭性状の、2 条のですね平行な断層が、確認しております。
00:05:18	これらの、この清断層が、SK 層、
00:05:22	に変位変形を与えてないということも確認をしております。説明以上となります。
00:05:32	はい。規制庁鈴木ですはい説明ありがとうございました。これは、
00:05:36	6 月、
00:05:38	23 日ですかねただ先月の会合では多分スケジュールの配布はなかったんで、6 月の 23 日の会合で配付説明があったもののリバイスということで、
00:05:50	ちょっと位置付け国にその 3 ページなんですけど、
00:05:54	松木元地調の追加調査増加 P10 に示すっていうさっきのあのトレンチの写真があり、
00:06:01	これ左側の対応状況って何かまだ 1 級断層の代表とか、
00:06:07	HQ 断層の上載層で評価しますとか書いてあるんですけど、これはまだ今後の、おそらくその BF1 の方に乗り換えるという話は 6 月に聞いたものの、
00:06:19	まだその方針ですね同一性をどうやって説明していくのかとか、A1 級断層ではなくて、まだどうするか、まだ 1 断層なんかはまずわかりませんが、この 1 断層の活動性どうしていかってところまで方針は我々にまた説明をして、
00:06:33	いるわけでもないんで、そのタイミングでここは何か変えてくると。
00:06:38	ていうつもりなんですかねこれは。
00:06:41	はい。今資料のつくりとしましては、審査会合の中でスケジュールの中で、報告はさせていただいているものの、会合として説明している段階ではありませんので、
00:06:52	今資料上はこの左側の欄のところは今修正しておりませんが、今後修正を図っていきたいというふうに考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:05	とはいえ、審査スケジュールの中で、乗りかえるって話はほぼ報告されているのいただいでるんでちょっとその辺りが少し追記推移を見れるように今後、
00:07:17	これらについて改めて整理して、新しい方、方針を説明するみたいなことを書いておかないとこれこれだと何か古いまんまで、鈴木さんのご確認通りでちょっと、
00:07:31	読めないもんですから少しそこは
00:07:35	修正を考えたいと思います。
00:07:40	はい。会合とかで、配布する機会があるのであれば、
00:07:44	そういうところで更新ということではい。地震動は
00:07:49	おいて津波も、7月の会合ですかね。
00:07:53	地すべりの話が入ると。
00:08:01	地震による津波のところは今回審査会合で説明ということて、
00:08:08	これだから直近がおそらくこの地震による津波の会合なんで、その時に、こういうスケジュールをもしかしたらアップデートしたもので、へ配布するというそういうつもりなんだと理解しておきます。
00:08:22	で、5ページ目以降は
00:08:27	おいて6ページ目は今回の話なんで、
00:08:30	赤字になってるところですねこれも、これと、
00:08:32	はいはいはい。
00:08:35	てスケジュールですけど。
00:08:39	基準地震動、これは何てある程度目鼻つけるということを今のところ9月、
00:08:46	2介護ごと、
00:08:49	テック夏の同じく月集中ちょっとこれは、その手前のところの会合、議論してみないとわからない話なんで、
00:08:59	わかりませんが、
00:09:01	もう津波の方も9月末辺りに、もう1回、その会合ができればと希望はしていて、
00:09:09	それが地すべり、或いはその海域活断層とかその辺一通りもし終わっていれば、そこは組み合わせの会合にしたいとそういう希望だというふうに理解しておきます。
00:09:22	で、ちい質地質調査の方は、
00:09:27	これは代表性、いわゆる

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:31	話と、あとは代表性が成立した段階で今度は上載層としてどうかということ、
00:09:39	うん。ちょっと追加調査ボーリングトレンチこれ共通でしょうね。追加調査しない試験ってのは多分共通なんでしょうけど、
00:09:47	反射法探査、これは誰ですかね代表性の同一性の評価の方に関係する調査かと思うんですけど。
00:09:56	一応今のところはこれ 11 月 2、
00:10:00	資料が出てきて、ちょっと後で写真は触れますけど、
00:10:05	SK 層の年代評価はここで説明した、したいと。
00:10:11	その上で、1 断層系全体ですかね BF1 線まで同一なものかと。
00:10:18	いうところについては、多分反射法探査とかも、ボーリングも多分続くんですかね。
00:10:25	これで上がって
00:10:28	その評価方針という形で説明をして結果については年を跨いでと。
00:10:35	そういう、一応希望としてはそう希望されているということで理解しておきます。
00:10:42	はい。
00:10:44	とりあえず、12 ページの写真はこの後触れますけど、10 ページまでのところで何か、
00:10:51	加来にある方いますか。
00:10:53	ないですかね。
00:11:04	あ、規制庁佐口ですけど、ちょっともう 1 回教えていただきたいのは 10 ページの津波のところで、ごめんなさいプレート間地震の津波の、
00:11:12	まとめっていうのと、基準津波のまとめというのを一緒にして、それまでプレート間地震の津波というのは、
00:11:20	これ出てこないっていいんですかね。そういう中で、津波の組み合わせってやって本当にいいのかって思うんですけど、もう 1 回ごめんなさい、ちょっと教えてくださいこの辺のスケジュール感を。
00:11:33	はい。
00:11:34	中部電力の小川です。前回のスケジュールの段階ではですねこのプレート間地震の津波に関しましては、津波発生要因の組み合わせと同じタイミングで、
00:11:45	ご説明をさせていただきますということで、計画をしておりました。
00:11:50	衛藤。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:11:53	この間ですね 1000、地すべり火山現象の審査会合をやっていただきまして、この後、会計の活断層が遅れてない、
00:12:02	審査会を回っていただく予定になっておりますけれども、その辺のいただいたコメントにつきましては、この発生要因の中で、部分的にコメント回答させていただくものもありますし、
00:12:13	地すべり型についてはこの発生要因の前に、コメント回答するという形で考えております。プレート間の地震の津波に関しましては、これまで多くの解析等も追加でやってきたというところでもありますので、その辺を、
00:12:27	考えをまとめて整理してということ、コメントとしていただいておりますので、そこについてはこの基準津波の段階で、併せて説明をさせていただくこととかなということ、今回提示をさせていただいております。
00:12:42	はい。規制庁佐口です。考えはわかったんですけど、いずれにしてもですね、プレート間が確定しない限りはこの摘む津波の組み合わせを
00:12:52	やれるのかというところは、少なくとも私は疑問に思っていますので、
00:12:57	そのあたりは、前回のプレート間と一緒にやると、いうよう介護としては多分同じ会合でやってくれとかがわかりましたよ、じゃ積み、次に組み合わせやりますねと言った方が多分、
00:13:12	外から見ててもいいのかなという気が、ごめんなさい。これはあくまでも個人的な印象なので、御社がどう考えるかっていうのは今後、このままでいくんだったらこのままで結構ですので、そこは、
00:13:25	もう少し考えてみてください。
00:13:29	中部電力天野でございます。
00:13:32	若干補足させていただきますと、プレート間地震の津波の計算結果自体は、理解したという位置付けにあらうかというふうに考えておりますので、
00:13:43	今、
00:13:45	組み合わせ候補として、地すべりと海域の活断層というところの、これも計算結果が今後の審査の中で、確定した時に、組み合わせの評価自体も計算、
00:13:58	なので親和性として、その辺りを説明していった方が、
00:14:04	話がわかりやすいのではないかなと一方で、プレート間地震の津波っていうのは、ロジック、特に審査会合にちゃんと適合してやってきてるっていうロジックをしっかり

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:14:14	もう1回書くというところで、いろんな計算結果が出た、最後に基準津波とあわせて、ご説明すると、お話として説明しやすいのではないかなというふうに考えてこういう組み替えをしているんですが、
00:14:30	嵯峨さんおっしゃられることも確かに、
00:14:33	とはいえまだ積み残したまま組み合わせにいいのかっていう議論があるんでちょっと、社内でもう一度考えたいと思います。
00:14:43	はい。議長佐口です。これは多分この後ご説明あるこちらの方ですね今日のご説明の方、御説明の地震による津波、こちらの中でもプレート間について、
00:14:55	触れられていて、その中で、多分これってまだ、
00:14:59	今後じゃないですけども、まとめて云々っていうのが多分まだ残ってると思うんですけど、そういう意味でも、この地震による津波をまだ確定できないという、
00:15:09	状態だと、本当に組み合わせ言っているのかっていう当然話になりますので、そこは少しご検討いただければと思いますので、よろしくお願ひします。
00:15:19	中部電力天野でございます承知いたしました。
00:15:24	調整官どうぞ。
00:15:30	はい。名倉です。
00:15:34	私も基準津波のところの、
00:15:37	上段の方に、10ページの基準津波の上段のところに書いてある。
00:15:42	プレート間地震の津波に繋がる場所の紫の言葉が意味がわからなかったんですが、今の議論を聞いていて、わかりましたけど、
00:15:53	ただ私も佐口と同じように、
00:15:56	ものすごく違和感を感じています。
00:15:59	事業者の説明のしやすさの観点でこうしたと思うんですけど、
00:16:04	基準適合上の確認のプロセスの観点からすると、
00:16:09	明らかに、
00:16:11	先送りをしてるだけで、
00:16:15	論理的な、
00:16:16	要は妥当性説明の順序になっていないというふうに感じました。
00:16:22	基準津波の策定の段階で説明すると言っても12ヶ月の違いなんだけど、
00:16:31	今まで何をやってたんでしょうかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:16:33	ただそれだけです。
00:16:37	もうこれ前回ちょっと整理をしましょうと言ってから、
00:16:42	かなり時間が経ってると思うんですけど、
00:16:44	それを先延ばしするっていうのは、
00:16:48	これ作業やってなかったってことでしょうかね。
00:16:51	ちょっとそこら辺も含めて、こういうスケジュール出されると、それはそれで議論になるのかなと思いますので、
00:16:59	ここのところはちょっとよく考えてですね、やっていただきたいと。私もやっぱり昨日同じように気にしているのは、今議論をしている。
00:17:09	プレート間と組み合わせる海域の活断層そのものの評価に、プレート間地震の評価が関連するというのもあるので、やはり、
00:17:21	評価、安全するというのもあるので、やはり、その前にある程度考え方をそれぞれ確認をして関連する部分の、
00:17:31	考え方も含めて、組み合わせの方に移行すると。
00:17:36	いうことなのかなというふうにちょっと思いますけどこれは私のやっぱり個人的な考えがまだあるので、組織内ではまだ議論をしてないのでまず事業者としてどうするかっていうのを考えていただいた上でこちら
00:17:48	も、
00:17:48	考えたいと思います。私からは以上です。
00:17:52	はい。中部電力浜野です。ありがとうございます。申し訳ございません作業してないというわけじゃなくて、審査でご説明して議論をいただくときに、
00:18:05	いいかなと思ってんですが、今名倉調整官からお話あった通り、やはり基準適合性というところを考えたときにプレート間地震一番影響の大きい積み残したまま、
00:18:15	要は下計算だけやっていくっていうのはちょっと方向性が違うというお話を重々理解いたしましたので、こちら、一緒にやる方に少し、
00:18:25	変えさせていただきたいと思います。
00:18:33	はい。形状推計さはい。よろしくお願ひします。私も
00:18:38	なんか順番の様式日というよりは、多分論理構成をまとめてプレート間の資料作って、組みかえていった時に本当に論点として抜けがないのかっていうところを最後我々確認をしなきゃいけないので、
00:18:50	当然それによって、じゃあこれも検討しなくてよかったのかみたいな話があると、結局戻って組み合わせもやりが欲しいっていう場合ももちろ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	んあるわけで、それ必ずそういうことが起こると言ってるわけじゃないんですけど、
00:19:01	やっぱりそこら辺は、何ていうか何か外向け順番というよりは、きちんと議論すべきものに漏れがないかっていうところがないと、なかなか次のステップというのは難しだろうというのは個人的な印象ですけどね。
00:19:15	あとこれは、
00:19:19	重々、審査のあるべき姿というところへ理解いたしましたので、
00:19:26	そのように対応させていただきます。あとごめんなさい、規制庁スキフ津波堆積物のコメント回答はこれは変わらずこの基準津波の説明のタイミングで、
00:19:36	いわゆるそのイベント堆積物かどうかとかっていうところでこれも大分前に
00:19:42	津波堆積物ですよ。あれもコメントは1個つけ残したと思ったんですけど、
00:19:53	津波堆積物ね。
00:19:55	はい。中部電力浜野でございます。津波堆積物についていろいろ過去ご議論いただいて Tall 敷地、それから遠州灘、
00:20:05	沿岸域では5から10メートルであろうというところの考え方についてご理解はいただいているというふうに認識しておりますので、ただ、説明のロジックが抜けがないのかというところで、
00:20:19	もう一度その組みかえをした上で説明すると、いうことにしておりますが、
00:20:25	これもあれですかね、プレート間地震の津波等を一緒にやった方がいいのか、いえ、そうそういうことを言ってるわけではなくて、
00:20:34	これ多分西郷議員津波の策定のときに比較として使うときに、この津波堆積物って、
00:20:41	最後にも出てくるし、それまでの歴史津波みたいなところでも出てくるんですけど、
00:20:48	何でこの基準津波の策定の説明の中で、いわゆるその考え方として、明らかにプレート間超えるような、
00:20:55	イベント堆積物をすべて津波堆積物としたとしても超えないよねというは、説明の流れはもちろん理解はしていて、一方でイベント堆積物として認定、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:21:06	そういうところのコアどうやって、どこどこでってこの範囲からこの範囲まで認定したんでしたっけとか、結構補足説明に近いところもありましたけど、
00:21:13	この辺のところも一応突き合わしているわけなので、それはだからこの基準津波の
00:21:19	策定の括弧書きですかね津波堆積物等との比較って書いてますけど、この津波堆積物の、
00:21:26	この評価ってというかですね、そこの部分も、このタイミングで出てくるんですねコメント回答。はい。今をそのように考えてございます。はい。ありました。
00:21:37	はい、じゃあスケジュールは、こんなところで、
00:21:42	12 ページですかね、これを
00:21:47	BF
00:21:50	1、
00:21:50	チェーンの
00:21:52	少し高まりの少し南波があったかな、南西側ですかね。
00:21:58	この辺りのところで、去年も現地確認で現場ですかねボーリンボーリングのやぐら立ててるようなところは見てたから、
00:22:07	どういうふうに記憶してますけど多分 BF1415 ってというのが、多分当時やぐらを立てていた。
00:22:14	辺りですかね、多分写真見るとトレーン左下のやつトレンチの右側に多分鉄塔みたいなものがあるので、
00:22:21	何となく場所は理解してますけど、
00:22:29	はい。中部電力の森本です今、鈴木さんおっしゃった通りでして平面図でございますけど所っぽいほうの図面見ていただきますと、
00:22:39	W37 と黄色丸打っている、少し右手の方をですね現地調査の時に、こちらちょっと加治になってるかと思うんですけども、
00:22:50	こちらの現地確認の際に、露頭としてご確認いただいた地点です。そこからぐるっと回っており畑のほうに、
00:22:58	北側の方から南にかけて歩いていただいたかと思えますけれども、層理畑でとらえて掘っているという状況でございます。
00:23:11	はい、わかりました。
00:23:15	右上の方の写真は相良層の上に、少しこれ真ん中辺りが、
00:23:24	あれですかね不整合面、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:26	何かそう相良層って言うところなんか少し白っぽいものと、
00:23:31	似たようないろんなものが、間に、
00:23:36	相良そうですねちょっと真ん中少し模糊となっているように見えるんですけど、色だけ見るとね。
00:23:42	これは一応、ほぼ、右上の写真って、
00:23:46	この相良層って書いて黄色い矢印で相良層の上端みたいのを書いてますけど、ほぼここ水平に上の相当、
00:23:54	先生知ってる
00:23:57	色を見ると、
00:24:02	写真鑑定ポインター0示すと疑問がわかるのかもしれないんですけど、一応、
00:24:07	ここで相良層と植野SK層っていうんですかね。
00:24:12	そういうものとは明確に、
00:24:14	切れてる。
00:24:16	この、
00:24:18	高齢とか左、右下の方がいいのかな、これ断層って書いてあるところの、
00:24:25	右側に行くと、もうちょっと高いところにも、なんか下の相良層と同じような、
00:24:32	白っぽいブロックが入ってますよね。
00:24:35	これはもともとの相良層の、
00:24:39	何か塊が何か基底部に残っ配っているっていうそういうことですかこれ。
00:24:47	はい。森本です。
00:24:50	今鈴木さんおっしゃった通りで少しこれ写真がですねちょっと速報ということもありまして、まだ完全に清掃ってない状況の写真でわかりにくくなってるんですけども、
00:25:03	右下写真で言いますと、断層面とかいう矢印の先より少し上ぐらいがですね
00:25:12	SK層と言ってる、4紀層との施工目になります。その不整合面は水平に、
00:25:18	連続して行って断層による変位がないことを確認しています。
00:25:22	ちょっと写真見づらくなってる理由がですね今先ほど鈴木さんもおっしゃいましたけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:25:28	SK 層、山木層の基底が相良層の森木。
00:25:32	できますリスク等になってますので、
00:25:37	少しその辺りがですねちょっと
00:25:40	表面として江本は同じものでできているものが止まったりするので、
00:25:46	見にくくなっているという状況です。今の大分露頭の清掃が進んで参りまして、このあたりもう少し物としても確認し、できるようになってきましたので、
00:25:56	ロット見てやってもですね、しっかり布施米安江に連続してることを確認しております。
00:26:05	はい。なんでまだ多分相良層と SK 層の明確な値ってこの写真の時点ではまだピン打って、ここをこうですっていうところはまだ示してないわけですねやってる最中なんで。わかりました。はい。佐藤です。
00:26:18	あとこの SKR テフラなんですけどこれ下の真ん中未見ると一応、
00:26:24	何となくこう写真レベルだと…と施設も同じ高さにこう入ってる人もいるんで一応これなんか、
00:26:32	ほぼピシッと純層で、
00:26:35	ぴしとなんていうかその、同じような面ですって左から右まであるんですかそれとも少しずつ点在するような形で、
00:26:44	とぎれとぎれの子、
00:26:45	出るようにもこう見えるんですけど、
00:26:48	この辺りはどうなんですかね。
00:26:50	はい。これちょっとまたこちらも現在清掃を、今しっかりしているところではございますが地層として、ところにトレンチ全周にわたってずっと連続していることは確認しています。
00:27:03	ちょっと地層としては踊り量といいますか、それによってはですね遠方から確認できない。
00:27:12	透明では見れないように、
00:27:15	ちょっと薄くなっている。
00:27:18	点々と、
00:27:26	細かく分布していると言う状況もございますけれどもよく見ればですね、ガラス質のものがずっとトレンチ全周にわたって
00:27:37	連続してるというところは確認できております。
00:27:43	はい。あんまりここは技術的に中身を確認するものではないのはい。とりあえず写真の状況というか、今置かれてる状況は大体わかります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:55	ですね。はい。
00:27:57	あとは変わりますかねなければ
00:28:01	あとこれ先日の間は別の面談で、資料も受け取ってますけど、そのところだと少しその何ていうか
00:28:11	検層分析ですかね、かけて、
00:28:14	いるようではあるのでそれを踏まえて、今麻生さんじゃないかとか安里考えられるという形で今、評価は進められているんだと思いますけど。
00:28:24	一応これも
00:28:26	何かあるデータを見ると、麻生さんだけど、あるデータを見ると違うかもしれないみたいな、そういう状況ではない。
00:28:34	のかどうかっていうのはそこは、当然ながら、プレーヤーD層とのBF4のところでも、何かこのデータを見ると、このデータ見ると違うみたいなのはならないようには、当然準備されてるんだと思ってますけど。
00:28:50	わかりました。あんまりその技術的な中身の方は触れないでおきます。面談で何とかそれ審査のまだ中身じゃありませんので、他何か。
00:28:59	12ページのところで聞いておきたいことあるかといいますか。
00:29:02	岩谷さん来ますか。
00:29:07	谷です。
00:29:09	この12ページでSKRTephraってしてる野々下にもう、何かの白い層があるように見えるんですけどこれ何か確認してんですかね。
00:29:19	確認してたらちょっと教えてください。わかります真ん中の写真で、はい少し白っぽくなって写ってるかと思うんですけどもこの辺り割と左室な部分。
00:29:31	になりましてちょっとラミナーが、
00:29:35	白っぽく映ってるのかなと思います。
00:29:40	特にだから分析するまでもなくこういうのはTephraとかじゃなさそうということですね。そうですねはい。テフラではないと思っています。ありました。
00:29:57	はい。
00:29:58	よろしいですかね。はい。
00:30:00	じゃ、スケジュールの確認という等は、以上でありますけど中部電力から何か。
00:30:07	ありますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:30:10	中部電力嘉門でございます。ちょっと10ページのところです。ねまだ今日ご確認いただいた部分であったりプレート間地震の津波をちゃんと説明すべき。
00:30:21	ところも重々承知しましたので、少し
00:30:26	特にこの秋以降というか、冬の辺りのところは、多少組みかえをさせていただいて改めて提出をさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。
00:30:43	はい、わかりました。ちょっとどこかのタイミングで、
00:30:46	会合の際に配って説明ということだと思いますので、
00:30:51	はい。その時には最新の情報で、資料という形にしてください。
00:30:57	茶色つければ面談の方終了しますそれCですかね。はい。以上で浜岡の地震津波の審査スケジュールの面談を終了しますお疲れ様でした。
00:31:08	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。